

## 嘔吐物処理研修

12月23日（月）に、本校全職員を対象とした嘔吐物処理研修を行いました。

感染性胃腸炎（ノロウイルスやロタウイルスなど）の流行期に入る前の研修で、消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム）を使った嘔吐物の処理方法をスライドの資料で説明し、児童生徒が教室で嘔吐したと想定した場合の、嘔吐発生時の動きを確認しました。

本校の嘔吐物処理は、どのような嘔吐でも消毒薬を使用し消毒をしています。校内で嘔吐があった場合、保健室や栄養職員（給食室）とも連携し迅速に対応します。

この研修を毎年行うことで教職員の感染症への意識を高め、感染症拡大防止に努めていきます。

